

ひょうたけいけ

桜台小 学校だより
令和4年6月13日
第13号



1年生の子どもたちが種を植えたアサガオが、どんどんツルを伸ばして大きくなってきています。ペットボトルに水を入れ、毎朝欠かさず水をやって成長を見届けています。2年生が植えた夏野菜も日に日に大きくなり、キュウリやピーマンは収穫できるほどの大きさになっているものもあります。

タブレットなどの情報機器が発達し、映像でその成長を見ることができますが、実際に世話をし、成長の過程を見て感じる体験は、子どもたちの成長に欠かせないものだと考えます。子どもたちには、自然との関わり、本との関わり、そして人との関わりを通し、多くのことを感じ、考え、乗り越えて成長してほしいと思います。

※学校ホームページ「桜台っ子ニュース」では、日々の学校の様子をカラーで紹介しています。



地域の皆様にお世話になっています。

6月7日(火)夕方、「緑の会」の皆様には運動場東側、西側にある木々の剪定をしていただきました。この場所では、20分休みや昼休みになると、低・中学年の子どもたちが、おいかっこやかくれんぼをして走り回っています。5月、6月と日照時間が長くなり、小枝が少しずつ伸びてきているのが気になっているところでした。5月下旬からこれまで、子どもたちとは「全校草取り環境ウイーク」で、保護者の皆様や学校開放団体の皆様にはPTA主催の「ゆびとま」で環境整備を行ってきました。しかし、学校の敷地面積が広く、なかなか隅々まで環境整備をするには至りません。「緑の会」の皆様のご厚意には大変感謝をしています。



また、「園芸ボランティア」の皆様には、日頃から正門付近や学年園、園芸委員会花壇付近の環境整備を行っていただいています。子どもたちは「園芸ボランティア」の皆様にご協力いただいた学年園に、秋に収穫予定のサツマイモを植えたり、夏野菜の収穫に向けた苗を植えたりしています。理科や生活科の学習では、自分たちが植えた野菜の成長を楽しみに観察し、スケッチをしたり、成長過程を文章にまとめたりしています。

このように地域の皆様のお力添えがあって、子どもたちの学習環境が保たれ、穏やかに心豊かな子どもたちが育成されていくのだと感じています。

話は変わりますが、最近の子どもたちを見ていると、相手(ひと)に対してやさしく接することができるようになってきています。個々の子どもにはさまざまな背景があり、いやなことがあったのか、ちょっとした荒れを見せる子もいます。そんな時こそ、そんな気持ちをわかってか、優しい言葉がけをしてくれている子を見かけます。誰にだっていやになることはあると思います。しかし、そんな状況を乗り越えようとがんばっている姿に気持ちを寄せられるのか、はずれていきそうな行動を見せる子に対しても、優しい言葉をかけ、決して見放すようなことはしません。そんな光景に出くわすたび、日頃から保護者、地域の皆様が温かい言葉がけを子どもたちにしてもらっているからだと、感謝の気持ちでいっぱいになります。

相手(ひと)の気持ちを推し量ることができ、子どもたちが心豊かに育つため、今後ともご支援をお願いします。

授業参観ありがとうございました。

6月10日(金)は、多くの保護者の皆様にご来校いただき、子どもたちの授業を参観していただき、ありがとうございました。今回の授業参観では『新型コロナウイルス感染による予断や偏見が起こらないように』というねらいで教員、保護者、子どもたちがともに学び合いました。



「不安や恐れ」からくる思い込みや先入観が、いわれのない、根拠のない「差別、偏見、嫌悪」を生み出してしまいます。でもそれは、今回のように学習して、私たちの力で断ち切ることができます。「コロナ差別を許さない自分」であるために、これからもしっかりと考えていけたらと思います。(文責 北住 昌文)